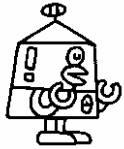


小 / 理科 / 5年 / 生物と環境 /  
植物の発芽と成長 / 理解シート

## 虫を食べるハエトリソウは、虫がいなくても育つの



ハエトリソウは、栄養をおぎなうため虫をとらえるしくみをもっているけど、虫がいなくても、ふつうに育つよ。

ハエトリソウの原産地は、<sup>ひりょう</sup>肥料が少ない土地だった

ハエトリソウは、モウセンゴケのなかまに入る植物で、もとは北アメリカのカロライナ州やフロリダ州の<sup>しつげん</sup>湿原にはえていたものです。湿原は、肥料分が少なかつたため、ハエなどの虫をとらえて、栄養をおぎなうしくみをもつようになったと考えられています（このような植物を食虫植物とよんでいます）。

園芸植物として育てるときには、肥料があれば、虫をいちどもとらえなくても、元気に育ちます。いろいろある食虫植物は、どれも同じことがいえます。

### ハエトリソウの虫のとらえ方

ハエトリソウは、下図のような葉をもち、葉の中に3本ずつはりのようなものが出ています。ハエが葉の中に入ってきて、はりのどれかに体が2回ふれると、2まいの葉は2分の1秒ぐらいの速さでとじられ、ハエは中にとじこめられてしまいます。葉がぐんぐんしまりハエはしめつけられ、葉の表面に出てきた消化液<sup>えき</sup>でゆっくりとかされます。養分を<sup>きゅうしゅう</sup>吸収された後、葉が開いて死がい<sup>しがい</sup>が放り出されます。

